

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

R5 年度修士課程入学試験（英語）

- * 以下に、問 I から問 III まで、3 つの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは解答用紙に、問い番号、項目番号とともに記入せよ。

問 I

下記の英文を和訳しなさい。

著作権の関係により、本文を掲載しておりません。

氏名 _____

問 II

下記の文章を読み、問いに答えなさい。

著作権の関係により、本文を掲載しておりません。

問 1

下線部①の期間とはどのようなものですか。

問 2

下線部②の具体的な内容を説明しなさい。

問 3

Table1 で Example に挙げられている例のうち知っているものを 2 種類選び、なぜそれがその Classification になっているか、化学的に推定し、説明しなさい。

氏名 _____

Table 1

著作権の関係により、表を掲載しておりません。

氏名 _____

問 III

下記の文章を読み、問いに答えなさい。

著作権の関係により、本文を掲載しておりません。

氏名 _____

著作権の関係により、本文を掲載しておりません。

氏名 _____

問1

① の結果、どのような処置がなされか述べよ。

問2

② はどのような材料で、この報告の中でどのような目的に使用されたか述べよ。

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

R5 年度修士課程入学試験（基礎）

- * 問1 から問2 まで、各5つの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは問い番号、項目番号、選択問題の場合は選択した用語とともに、解答用紙に記入せよ。

問1

1~5の各項目につき、(a)~(c)の中から1題を選び、100字程度で説明せよ。

- | | | | |
|----|-----------|-----------|---------|
| 1. | (a)含水率 | (b)調湿剤 | (c)絶対湿度 |
| 2. | (a)X線回折分析 | (b)蛍光X線分析 | (c)色差 |
| 3. | (a)塩類風化 | (b)生物劣化 | (c)凍結破砕 |
| 4. | (a)色温度 | (b)紫外線 | (c)可視光 |
| 5. | (a)ペニス憲章 | (b)古社寺保存法 | (c)岡倉天心 |

問2

1~5の各項目につき、(a)~(c)の3つの言葉を組み合わせて、文章を作れ。(100字程度)

- | | | | |
|----|-----------|---------|---------|
| 1. | (a)染料 | (b)顔料 | (c)酸化 |
| 2. | (a)有機物 | (b)相対湿度 | (c)無機物 |
| 3. | (a)考古遺物 | (b)酸化 | (c)合成樹脂 |
| 4. | (a)美術工芸品 | (b)修理 | (c)所有者 |
| 5. | (a)日本の近代化 | (b)建造物 | (c)有機材料 |

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

R5 年度修士課程入学試験（小論文）

以下の文章は文化財保存修復学会の行動規範です。文化財を対象に自然科学的な手法で調査研究するシステム保存学として、守るべき倫理規定と言えます。

文化財は保存と公開の両立が求められますが、保存と公開は相反する面も持ち合わせています。また文化財の価値づけに調査研究は欠かせないものですが、同様に保存上、好ましくない場合もあり得ます。具体的な文化財の種別を想定し、その保存と公開の、あるいは保存と調査の問題点を指摘し、どのように克服するか、あなたなりのアイデアを、そう考えるに至った論拠を示して、1000 字程度にまとめなさい。

* 答えは、解答用紙に記入すること。

文化財の保存にたずさわる人のための行動規範

（文化財保存修復学会 2008 年 7 月 8 日制定）

前文 文化財は人や自然が作り出した、芸術的、歴史的または学術的に価値の高い有形、無形の遺産である。われわれは人類が共有するかけがえのないこの遺産を、自分たちの世代において活用するだけでなく、将来の世代のために保存しなければならない。文化財保存修復学会はそのため、文化財の保存と活用にかかわる科学・技術の発展と普及を図ることを目的とする。この目的を果たすため文化財保存修復学会会員は、専門家として責任を果たすとともに、社会の一員として社会の安全と安寧、人類の健康と歴史・文化および自然環境に対する責任を有することを自覚して行動する。また教育や普及などを通じて文化財の保存への理解を広め、この分野の発展につくす。

これらの認識の下に、文化財保存修復学会はここに行動規範を制定し、会員が守るべき規範とする。同時にこの行動規範は、広く文化財の保存にたずさわる人が守るべき規範となりうると信ずる。

1. 文化財への敬意

文化財保存修復学会会員は、文化財が人類の貴重な遺産であることを認識し、文化財への敬意を持って調査・研究、公開、保存・修復処置を行う。

2. 文化財の価値の尊重

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置にあたっては、文化財の芸術的、歴史的または学術的価値を損なわないように、適正な方法や材料を検討して選択する。

3. 安全性の確保

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置において用いる方法と材

料などに、文化財に対して安全であり、かつ人間の健康や環境にも配慮して適正であるものを選択する。

4. 保存環境の重視

文化財保存修復学会会員は、文化財の長期的保存には保存環境の整備がもつとも重要であることを認識し、文化財にとってより良い保存環境の実現に努める。

5. 自己の研鑽

文化財保存修復学会会員は、学会活動や教育・研修などの機会を通じて自らの専門的知識、技術の維持向上に努めるとともに、その遂行において最善をつくす。

6. 専門家との協力

文化財保存修復学会会員は、文化財の保存が芸術・歴史・文化・自然科学など多くの分野にかかわることを自覚し、調査・研究、公開、保存・修復処置において、積極的に他の専門家の協力を求める。

7. 他者との関係

文化財保存修復学会会員は、他の専門家に対して誠実さと敬意を持って接し、他者の成果を適切に批判すると同時に、他者からの批判には謙虚に耳を傾け、この分野の発展に努める。

8. 記録の作成・保存・公表

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、保存・修復処置にあたっては、信頼性を確保しつつ適正な記録や報告書を作成し、適切に保存・管理するとともに、公表につとめる。

9. 法令の遵守

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置にあたっては、関係する法令や関係規則を遵守する。また他者の知的成果、知的財産権を尊重し、これを侵害しない。

10. 行動規範の遵守

文化財保存修復学会会員は、この行動規範を遵守し、他の会員にもそれをうながす。

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

R5 年度修士課程入学試験（専門）

- * 次に I から IV までの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは問い番号、項目番号、（選択する場合は選択した用語）とともに、解答用紙に記入すること。

I. 次の 1～8 の各項目の中から 2 題を選び、記載されている 3 つの言葉について簡潔に説明せよ。その際に、それぞれの言葉がどのような関連を持つかについても述べること。

1. 光学異性体、構造異性体、シーストランス異性体
2. 芳香族炭化水素、脂肪族炭化水素、共役結合
3. モル沸点上昇、理想気体状態方程式、水素イオン濃度
4. 融点、沸点、比熱
5. 高分子、モノマー、ガラス転移点
6. 有機溶媒、極性、双極子モーメント
7. 高級アルコール、立体架橋、界面活性剤
8. 多糖類、タンパク質、ウルシオール

II. 絹、紙、ポリエチレンテレフタレートフィルムで構成された現代アートの上に粘着テープが貼られている。粘着テープは色が黄褐色に変色し、粘着剤の滲出も確認された。

下記の質問に答えよ。

1. 粘着テープのこのような変化はなぜ起こるのか説明せよ。
2. テトラヒドロフランとアセトンを用いて溶解除去を試みる。この時に注意すべき点を挙げよ。

III. 下記の分析方法について 2 つ選び、説明せよ

1. 接触角測定
2. 熱分解 GC/MS
3. 薄層クロマトグラフィー
4. 蛍光 X 線分析
5. X 線回折
6. 核磁気共鳴法
7. ラマン分光法

IV. 下記の問題について回答せよ。

氏名 _____

1. 平均重合度 10000 のポリエチレンの平均分子量を示せ。
2. 15 重量%の膠水溶液(A)を希釈して 3 重量%の膠溶液 200g を得たい場合、A の水溶液と水をそれぞれ何 g ずつ用意する必要があるか。
3. $C_6H_{14}O$ の構造異性体はいくつあるか。(光学異性体は含めないものとする)
4. ポリ酢酸ビニルが鹼化されてポリビニルアルコールになるときに、構成繰り返し単位の重さはいくつ減少するか。

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

R5年度修士課程入学試験（実技）

文化財を想定した汚れの除去を検討したい。

机の上にある薬品、道具を用いて、提供された資料の上にある1) と2) の汚れの除去方法を提案せよ。その際に、その方法を使用する利点と欠点を併せて記載すること。

- 1) マジックインク
- 2) 原因不明の茶色いしみ

第37回日本美術院展覧会出品目録